

くまとり

# よ美会だより 議云

No.56

令和4年2月  
発行





# ひまわりバス運賃、学校給食費、保育所等 副食費無償化が引き続き令和4年3月まで延長 (議会からの要望が実現!) 子育て世帯等臨時特別支援事業を可決

## すべての議案が可決

### 12月定例会



二見裕子議長

12月2日から16日までの日程で12月定例会が開催されました。

町長提案の9件「国民健康保険条例の一部を改正する条例」

「指定管理者の指定(熊取町学童保育所)について」ほか、議

員提出議案「飲食店等に対する(大阪府営業時短協力金)を1

日も早く支給するよう大阪府に求める意見書」「沖縄戦戦没者

の遺骨等が混入した土砂を埋立てに使用しないことを求める意

見書」2件、すべての議案が全会一致で可決されました。

また、補正予算(第7号)には、ひまわりバス運賃、学校給

食費、保育所等副食費の無償化、防災備品費等が、補正予算

(第8号)では、子育て世帯等臨時特別支援事業(現金一括給

付)等が計上されています。

### もくじ

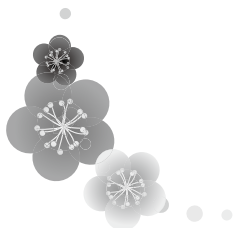
12月定例会・意見書	2～3ページ
一般質問	4～9ページ
財政勉強会	10ページ
雨山川災害復旧工事の検証	10ページ
議会改革をめざして	11ページ
3月議会の予定	11ページ
成人式スナップ	12ページ

### 第3回臨時会

11月25日の1日間

の日程で第3回臨時  
会が開催されまし  
た。補正予算(第5  
号)くまとりふるさ  
と応援寄付金の増加  
に伴う経費、補正予  
算(第6号)新型コ  
ロナウイルスワクチ  
ン(3回目)接種事  
業、感染症対策事業

(PCR検査等補助  
金)、新型コロナウイルス  
支援事業が全会一致  
で承認、可決されま  
した。



# 令和3年12月定例会提出議案 町長提案9件、議員提出議案2件

## 本会議で審議した議案

【議案第71号】 令和3年度熊取町一般会計補正予算（第8号）

くまとりふるさと応援寄付事業（くまとりふるさと応援寄付金の増加に伴う経費）、子育て世帯等臨時特別支援事業（対象者7,200名に一括10万円現金支給）（全会一致）

## 総務文教常任委員会 主な議案

【議案第66号】 令和3年度熊取町一般会計補正予算(第7号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億4,840万2千円を追加し、総額を155億5,307万6千円とする。

- ・町コロナ対策無償化延長分（保育所等副食費・学校給食費・ひまわりバス運賃）
- ・東保育所大規模改修工事 等



## 事業厚生常任委員会 主な議案

【議案第63号】 国民健康保険条例の一部を改正する条例

令和4年1月1日より産科医療補償制度の掛金が引き下げられることに伴い、出産育児一時金を引き上げるもの。掛金が1万6千円から1万2千円になり、出産育児一時金は40万4千円から40万8千円になる。支給額は42万円に変更はない。令和4年1月1日から施行

【議案第64号】 泉佐野市、泉南市、阪南市、熊取町、田尻町及び岬町における広域福祉課の共同設置に関する規約の変更について関係市町と協議することについて

広域福祉課の執務場所の所在地の住所表示が変更となるため。大阪府泉佐野市市場東1丁目1番1号とする。令和4年1月11日から施行

【議案第65号】 指定管理者の指定（熊取町学童保育所）について

熊取町学童保育所の指定管理者を指定するもの。

- ・特定非営利活動法人熊取こどもとおとなのネットワーク 理事長 高橋 淳
- ・指定期間 令和4年4月1日～令和9年3月31日まで



## 意見書を採択〈関係省庁へ提出しました〉

飲食店等に対する「大阪府営業時間短縮協力金」を1日も早く支給するよう大阪府に要望する意見書

新型コロナウイルス感染症の拡大防止及び事業継続を目的に支給される協力金については、1日も早く飲食店に支給を完了すること。

営業時間短縮の要請に協力いただいた飲食店等の事業継続を支援するため、協力金の支給が遅れることによって、営業時間短縮の要請に協力したくてもできないといった飲食店等の声にも真摯に耳を傾け、より一層、飲食店等の側に立った大阪府の対応が今こそ強く求められる。

本議会は、大阪府に対し、飲食店等に対する「大阪府営業時間短縮協力金」を1日も早く支給するよう要望するものである。

沖縄戦戦没者の遺骨等が混入した土砂を埋立てに使用しないことを求める意見書

沖縄県では、太平洋戦争末期に悲惨な地上戦が行われ、多くの尊い命がうしなわれた。

戦後76年が経過した今でも戦没者の遺骨収集が行われている。

そのような遺骨等が混入した土砂を埋立てに使用することには、人道に上許されない。

平和の礎に刻銘されている犠牲者は、全国に及んでおり、遺骨収集は日本全国で取り組むべき問題である。

よって、下記の事項に速やかに取り組むことを強く要望する。

記

1. 沖縄戦の戦没者の遺骨等が混入した土砂を埋立てに使用しないこと
2. 地上戦があった沖縄の事情を鑑み、戦没者の遺骨収集の推進に関する法律により、政府が主体となって戦没者の遺骨収集を実施すること

# 一般質問

定例会において、各議員が行う町政全般に関する質問です。

「熊取コロッケ」について  
投入し続けるのか？  
災害ベンダー自動販売機の設置を！  
消防団員の処遇改善を！

田中 圭介  
たなか けいすけ



マイナンバー制度の問題点  
コロナ後のフレイル予防・介護体制は？

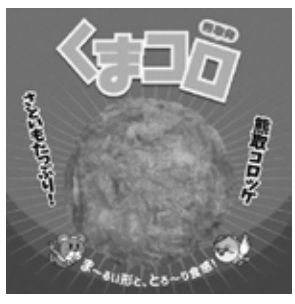
鯉谷 陽子  
こいまた しょうこ



「熊取コロッケ」について

問 「熊取コロッケ」の事業を始め何年目になるか？

答 5年目になる。



問 熊取コロッケの保管場所は？

答 泉佐野市内の冷凍倉庫と、熊取町商工会の2台の冷凍庫。

問 泉佐野市内の冷凍倉庫には代金を支払っているが、熊取町商工会には冷凍庫電気代は支払っているか？

答 払っていない。今後熊取町商工会と協議

していく。

要望 商工会員の会費から電気代が支払われている、熊取町が払うべきだ。

問 当初5分の4、現在(今年度はコロナ禍で10分の10)3分の2を補助(原価1個23円のうち15円税金補助、1個8円で購入可)の補助率を改定予定は？

答 段階的に補助率の引き下げを検討する。

問 補助金無しで購入する業者は何社ある？

答 平成30年度で6社、令和元年度で3社。

問 「熊取コロッケ」のようなB級グルメに補助金を出している自治体はあるか？

答 近隣市町ではない。要望 今年度購入の57社にアンケートを取

り、補助金なしで購入する事業所がほとんどなければ、熊取コロッケは辞めるべき。

災害ベンダー自動販売機について

問 来年度、庁舎敷地内に設置する予定は？

答 来年度に向けた更新の際に、業者と交渉し設置検討する。

消防団について

問 団員の処遇改善の進捗状況は？

答 処遇改善を取り纏め条例改正及び予算措置について令和4年3月上旬を想定している。



一般質問の動画はこちら



た支援件数は、950件。

問 コンビニでカードを使って、各種証明書が交付され、窓口よりも安い、必要経費は高いのでは？

答 国が令和3年度まで半分負担してくれ、自動交付機よりも安い。

意見 欧州連合は、加盟国に一般データ保護規則を施行。ナチスはデータを集め、ユダヤ人を選別し、障害者などもプロファイリングし殺害した。その反省により欧州では、プライバシーは保護されている。日本では国民一体となって情報を儲けの手段にしようとしている。

2025年問題を見据えたフレイル予防、介護体制は？

問 コロナ後のフレイル予防、2025年を見据えた介護予防は？

答 ふれあい元氣教室を主軸とした総合事業、タピオステーションの全地区の立ち上げを目指す。

要望 2025年には、38万人介護労働者が、足りないと言われている。早い対策を！



一般質問の動画はこちら





コロナ禍によって傷ついた子ども達の心のケアを。  
ICT機器を頻繁に使用し、遠隔授業の体制作りを!!  
教員の労働時間を削減する為、外部連携を!!

浦川 佳浩  
よしかわ よしひろ



住民の命と生活をまもる、新型コロナ対策を!  
女子トイレに生理用品の設置を!  
外環状線の早期の渋滞対策を!

江川 慶子  
えがわ けいこ



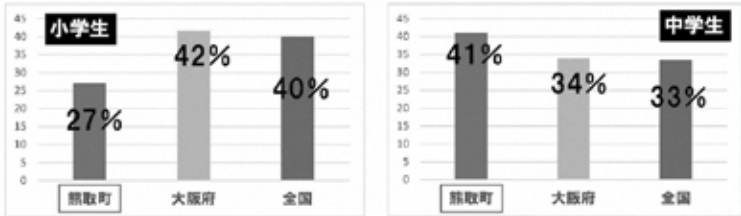
**問** コロナ禍を経験した子ども達の心理状況について

**答** 2年ぶりに全国学力学習状況調査が実施された。コロナ前と後と比較すると、子ども達が心理面で大きな心の傷を負っている事が分かった。どう対応していくのか。

**答** コロナの影響で、子ども達にとって楽しみな行事が中止や変更となった事も原因の一つであると考え。スクールソーシャルワーカーや学習支援ボランティア等の人材を配置し、安心して学校生活を送れるよう環境整備していく。

**ICT機器の使用頻度について**

質問：5年生までに（中学1年～2年生のときに）受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか。  
【週に1回以上使用している割合】 ※小数は四捨五入している。



**問** ICT機器の使用頻度が、本町の小学生は全国と比べて非常に少ない事が分かった。今後は使用頻度を向上させると共に、遠隔授業についても取り組む必要があると思うが。

**答** ICT機器を「文房具」として自由な発想で活用できる様取り組み、遠隔授業についても夏季や冬季の長期休校期間等を使って、実現に向けて検証していきたい。

**要望** 新しい事を始めていくには、現在教員が抱える業務を整理していく必要がある。他市の様に、外部に委託出来る業務は委託し、効率的・効果的な学習が出来る様に議会とも問題を共有する必要がある。教員が子ども達との時間をしっかりと確保する事で、より一層の好循環が生まれるものと考え。

一般質問の動画はこちら▶



**問** コロナ対策について第6波に備える対策は?

**答** 3回目のワクチン接種は2回目から8か月以上経過したもの。前回の反省を踏まえ、コールセンターで先行予約など混雑緩和が図れるようにしている。PCR検査「熊取モデル」はクラスター対策だけでなく社会経済活動のための助成をすすめる。

**問** 保健所との連携は?

**答** 保健所から市町村への陽性者等の個人情報はない。強化した点は①自宅療養者等で支

援が必要な方が町の生活支援につながるよう保健所から直接お知らせする。②災害時は避難所運営のため自宅療養者の人数や年齢等のみ情報提供され、より具体的な支援体制が図れるよう検討されている。

**問** 6月質問後の進捗状況は?

**答** 生理用品は保健室にあり保健指導を行い相談内容や支援が必要な児童生徒について情報交換し教職員で検討し対応する。しかし今

**女子トイレに生理用品の設置を**

**問** 6月質問後の進捗状況は?

**答** 生理用品は保健室にあり保健指導を行い相談内容や支援が必要な児童生徒について情報交換し教職員で検討し対応する。しかし今

回大阪府から無償で配付された生理用品を活用し、一つの中学校で試験的に実施する。

**問** 外環状線の渋滞対策

**問** 住民生活に悪影響がある。対策は?

**答** 用地取得は完了。全線4車線化への早期事業着手を大阪府へ機会あるごとに要望している。



一般質問の動画はこちら▶



熊取町内の交通安全対策は？  
文化財保護と活用計画の策定を。

田中 豊一



大学生・高校生の自転車通学マナーについて

浪商学園の中学・高校生で719台、大学生で1108台の使用許可が有る。交通事故等の対策は？

当該学校で通学過程で7月と10月に自転車と歩行者による交通事故があった。学校での交通指導、注意喚起を行い、熊取町からも交通安全指導の強化をお願いした。

学生の自転車通学での信号無視、夜間の無灯火運転の対策は？

学校によるライトの安全点検や整備不良の点検を行っている。

以前には自転車の信号無視による重大事故が起こっている。信号無視への取締りは出来

ないか？

泉佐野警察署によると、悪質な場合要望があれば取締実施可能。

通学路の安全対策(久保交差点)の改善について

抜本的な交差点改良と信号機設置までの間の対策は？

5者立会い後、横断歩道付近にカラーポールが設置された。現在横断歩道のカラーの協議中。抜本的には現在策定中の道路網計画で計画の具体化を進める。

文化財保護と活用計画について

熊取町の文化財保存活用計画の進捗は？

今後、文化財のり

ストを策定し、保存活用計画の策定を目指す。

街づくり、観光、町のアイデンティティの観点からの文化財行政の考え方について？

(教育長) 国の方針を踏まえ、熊取町でしか出来ない街づくりのため、文化財の保存活用を進めて行く。

検証委員会「提言」今後の対応について

「設計」について。

外部専門的知識を有する技術者の意見が聞ける仕組みを検討。

「入札制度」は。

経審総合評定値を元受け業者を評価する指標として活用する。

過去に、談合事件を経験した町として、基準が余りにも緩いのでは。

町長答弁 厳密にふるいをかける必要性を感じる。事業規模に応じた考え直す必要がある。

「人員体制」は。

技術系職員の確保に努め、民間の活力や知見も活用する。

要望 現課の能力を超える事案に対処する為、総合的に責任を負う部署の設置を求める。

美熊台被災住民への対応は。

今年度から4年度にかけて補償費の算定業務、補償協議。その後に復旧に着手予定。

要望 災害発生数年前からの異常情報に対する町の対応への不信任感、工事での工法の問題等、被災住民の方々に様々な思いがある。町として真摯に向き合い襟を

正し丁寧に対応して欲しい。

主権者教育について

選挙の投票率向上のため、選挙管理委員会とは問題点を把握しているか。

若年全体の投票率が低い。関心度の向上施策、小中学生に主権者教育を進める。

教育委員会は。

小6社会科で社会や選挙の仕組み、主権者として選挙について自ら考える学習。中3社会科公民分野で生徒自身が主体的に選挙について考える場面を想定し学びを深め、教科等横断的な視点で学習を進める。

兩山川災害復旧事業、  
検証委員会の「提言」今後活かす組織体制を！  
「主権者教育」の充実で、投票率の向上を図る！

文野 慎治



町長答弁

「入札制度」は。

経審総合評定値を元受け業者を評価する指標として活用する。

過去に、談合事件を経験した町として、基準が余りにも緩いのでは。

町長答弁

「人員体制」は。

技術系職員の確保に努め、民間の活力や知見も活用する。

要望

現課の能力を超える事案に対処する為、総合的に責任を負う部署の設置を求める。

美熊台被災住民への対応は。

今年度から4年度にかけて補償費の算定業務、補償協議。その後に復旧に着手予定。

要望

災害発生数年前からの異常情報に対する町の対応への不信任感、工事での工法の問題等、被災住民の方々に様々な思いがある。町として真摯に向き合い襟を

正し丁寧に対応して欲しい。

主権者教育について

選挙の投票率向上のため、選挙管理委員会とは問題点を把握しているか。

若年全体の投票率が低い。関心度の向上施策、小中学生に主権者教育を進める。

教育委員会は。

小6社会科で社会や選挙の仕組み、主権者として選挙について自ら考える学習。中3社会科公民分野で生徒自身が主体的に選挙について考える場面を想定し学びを深め、教科等横断的な視点で学習を進める。



一般質問の  
動画はこちら▶



一般質問の  
動画はこちら▶





## マイナポイント第2弾！ 原付バイクのご当地ナンバー!!

かわい  
ひろき  
河合 弘樹



マイナンバーカードについて

問 これまでの経緯は。

答 平成28年1月からマイナンバーの利用が開始され、平成29年1月にマイナンバーを含む個人情報提供したのが、なぜ提供したのかを確認できるマイナポータルが稼働するとともに、平成29年7月には国や他の地方公共団体などの間でマイナンバーを介した情報連携が開始された。マイナンバーカードを活用した具体的な住民生活の利便性向上に関して、本町独自の取組として、平成31年4月から各種証明書のコンビニ交付サービスが開始されたほか、令和3年10月から健康保険証と

問 今後の予定と課題は？

答 令和5年度に戸籍関連情報の情報連携の開始、令和6年度に運転免許証との一本化などが予定されている。国は令和4年度末においてほぼ全ての国民がマイナンバーカードを取得することを目指しており、直近の国のデータでは、普及率は全国で39・1%、本町で44・3%となっており、マイナンバー制度の有効性への理解が進んでいないことが課題と捉えており、国が示すコロナ禍における追加経済対策においてもマイナポイント制度が盛り込まれる方向と

なっているため、しっかりと取り組んでいく。



ご当地ナンバーについて

問 原付バイクのご当地ナンバーについて、採用の検討は？

答 近隣団体では過去に数量限定で導入し、現在は発行していない団体もあるが、本町においては、現時点では、ご当地ナンバーの導入予定はない。

一般質問の動画はこちら▼



## 公共交通計画策定までのプランを！ 町づくりに公共交通の充実が必須である。

たかあせ  
大林 隆昭



問 公共交通アンケートの結果を見て、どう感じたか。

答 様々な幅広い意見があり、今後の「熊取町公共交通会議」でしっかりと議論を進めていきたい。

問 熊取駅へのひまわりバス乗り入れについては、どう考えているのか。

答 ひまわりバスの熊取駅への乗り入れは、路線バスの撤退、縮小をまねく恐れがある。デマンド交通なども含め、新たな公共交通をデザインする上で重要な項目であり、しっかりと議論を進めていきたい。

問 現状では難しい。デマンド交通実証実験①時期②実施方法③実施エリア④エリアの選定方法

答 ①令和4年1月5日～2月28日まで

②9時～17時、1時間に2本程度、5人乗りタクシーを乗降場所を指定し運行 ③小谷、五月ヶ丘、自由が丘

④デマンド交通の利用意向、高齢者の割合、高低差のある丘陵地であることを総合的に判断

問 断じた。実験の結果、その後の計画はどうか。

答 実証実験後にアンケートを実施。実験の検証は、委託先で行う。

問 「地域公共交通計画」策定へのプランはあるか。

答 よりよい公共交通の検討を進めるため、法令に基づく会議体への移行を検討している。「地域公共交通計画」策定についても議論を進めていく。

要望 町づくりにおける、公共交通の重要性が高まっている。町民全員が利便性を享受できる公共交通網が必要である。

一般質問の動画はこちら▼



子宮頸がん予防接種の積極的勧奨と検診の受診勧奨を！  
ヤングケアラー支援体制の強化を！  
さくらねこTNR活動 動物と共生できる社会を！  
弱視の早期発見 屈折検査機器の導入を！

渡辺 豊子



子宮頸がん予防について

問 厚労省は子宮頸がん予防接種の勧奨を8年ぶりに再開する。現在の接種状況と取り組みは？

答 積極的勧奨が差し控えられ、年間6件程度。昨年、国から個別通知による情報提供を行うこととされ、全対象者に個別通知を実施。令和2年度は64件。3年10月時点で153件。

問 今後の取り組みは。答 対象者に個別勧奨により必要な情報提供等を行う。

ヤングケアラー支援

問 ヤングケアラーへの相談窓口の設置と福祉との連携については。

答 「子ども・家庭相談」を窓口として対応する。福祉との連携については「要保護児童対策地域協議会」の対応に準じ、具体的支援に繋げていきたい。

要望 ヤングケアラー支援のための研修やコーディネート、ピアサポート、オンライン相談等、国の財政支援があるので活用していただきたい。

飼いのいない猫不妊去勢活動支援の拡充について

問 支援の現状は？答 平成30年度は20頭。令和元年度は36頭。2年度は54頭。

問 予算を超えている現状。さくら猫無料不妊手術事業に参加して

はどうか？

答 他団体の状況も踏まえ前向きに検討する。



術後耳をV字にカット

弱視の早期発見

問 厚労省は3歳児健診に屈折検査機器を導入するにあたって、購入費の2分の1を補助する。導入しては？

答 人員確保や健診体制の見直しが必要。導入予定の団体の状況を検証し、検討を進める。

要望 課題ではなく、効果の検証を望む。

一般質問の動画はこちら▶



産業振興・ビジョン具体化と創業支援の拡充  
保育所民営化は「保護者の声」を聴いて

坂上 巳生男



産業振興・ビジョンの具体化はどうか

問 3月にビジョンが改定された。実施計画の準備状況は？

答 7月に第1回産業振興アクションプログラム策定委員会を開催。事務局素案に対し、各委員の意見を聞いた。12月開催の第2回策定委員会で修正案を議論頂く予定だ。

問 創業支援の見直しがあった時に、熊取駅周辺に限定された。町全域を対象とし、財源となる産業活性化基金は積み増しが必要。策定委員会でも意見が出ている。

答 創業支援は駅周辺を重点としつつ、町全域を対象としたい。基金の積み増しも必要だ。

保護者の声を聴いて

問 西保育所民営化の引継ぎ保育について説明を求める。

答 今年5月から12月にかけて、運営レベルでの引継ぎとして、年間計画や保育所運営、加配職員の配置や食育のあり方、施設整備等の引継ぎ、令和4年1月から3月にかけて西保育所クラス担任と移管先保育園の担任予定者との引継ぎを予定。



こどもの姿の把握や年間計画の作成など週に2、3日の頻度で行う。  
問 配慮を必要とする児童の受け入れ体制はどうか。

答 民営化後も町立保育所の保育を引き継ぐこととし、加配保育士を配置した場合は人件費を町が補助する。

問 保護者アンケートでは町立保育所の安定した保育が支持されている。今後民営化を検討する場合は、「民営化の是非」についても保護者の声を聴くべき。  
答 保護者の不安解消のため丁寧な説明してきた。今後の民営化についても丁寧な説明に取り組み。

一般質問の動画はこちら▶





## 老人福祉センターの今後は？ ふるさと応援寄付の増額に向けて

さかしの  
坂上 昌史



**老人福祉センターについて**

**問** 現在も予算を投じて施設を更新する考えか？

**答** ふれあいセンターの事務所や会議スペースが非常に手狭になっている。社会福祉協議会が事務所を置いており、代替スペースの確保が急務になっている。

**問** 耐震補強するだけで地域共生社会の拠点にできるか？

**答** 耐震補強以外にエレベーターの更新等必要な改修経費もある。慎重に検討を進めている。

**問** 地域共生社会の拠点作りは現在の老人福祉センターを利用しなければならぬのか？

**答** 関連部局との連携が必要であり、距離的にも連携が図れる施設であり、老人福祉センターが最適と考える。

**要望** 町有の固定資産

について更新だけでなく、役目を終えた施設については廃止も検討すべき。廃止する基準も検討していくべきである。



**ふるさと納税について**

**問** 返礼品はタオルが多いが、町が意図したラインナップか？

**答** 結果として意図したものの。

**問** 人気のある肉や米、魚介類など食料品を強化する考えは？

**答** 熊取産の米や野菜を返礼品として提供できるよう地域の事業者とも協議を進めているところ。

**要望** より幅広い事業者に返礼品を提供してもらえるように、産業活性化基金補助金の制度を強化してほしい。



一般質問の  
動画はこちら▼



## 子どもが安心安全にタブレットを利用し 「GIGAスクール」定着へ

やの  
矢野 正憲



**「GIGAスクール構想」に基づいて、小中学生に一人一台配備した学習用タブレットの不適切な使い方や学校でのトラブルが全国的に問題となってきた。子どもが安心安全にタブレットを利用するうえで課題やトラブルについて問う。**

**答** クロームブック導入当初より、生徒が個別でやりとりできるチャット機能は、使えないように設定している。生徒間のトラブルは現時点で確認していない。パスワードも本人以外の生徒が簡単に予想できるものにしていない。情報リテラシー教育を行いながら、パスワードの管理保管は適切に行っている。

**問** 学校・教育委員会でトラブルから対応までの共有はできているのか？

**答** 生徒間トラブルについては、平素から校内で情報共有しながら組織的に対応している。内容も学校から教育委員会に報告される仕組みになっている。クロームブックを使ったトラブルがあった場合も各校と教育委員会が連絡を密にしながら適切に対応していく。

**問** 安心安全に正しく使うための利用方法や知識を身に付ける情報モラル教育についてはどうなっているのか？

**答** 情報教育の年間指導計画をたて、情報モラル教育やセキュリティ教育も含めて、

付けたい力を確認しながら指導している。SNSの正しい活用のため外部講師を招いての指導も行っている。子ども達が安心安全に学校生活を送れるよう、学校全体で生徒の些細な変化に気づき、トラブルを未然に防ぐことが大切と考えている。



一般質問の  
動画はこちら▼





# 厳しい財政状況を 確認！

財政勉強会開催  
(令和3年11月11日開催)



熊取町の財政状況（中長期財政見通し、財政構造など）について、総合政策部財政課から説明を受けました。

令和3年3月作成の熊取町中長期財政シミュレーションでは、人口と連動して町税が減少する一方、地方交付税の大幅な増額は見込めない中、社会保障関係経費や物件費等が増高する厳しい見通しである。財政調整基金においては令和10年度に枯渇する見通し。（不確定要素を多く含んでおり、将来に向かって相当に幅をもってみる必要あり）また、財政シミュレーションに織り込まれていない課題等は、景気動向が税収や歳出に及ぼす影響、老朽化が進む公共施設・インフラの更新・保全等に係る経費の

増高、令和6年度以降の扶助費の動向とそれに係る国の地方財政措置の状況等がある。

熊取町として、厳しい財政状況の中でも、住民サービスを維持し、特色ある取り組みを行っていくためには、自主財源の確保が重要である。



普通河川雨山川災害復旧事業に係る検証委員会が専門家3名を委員に迎え、熊取町が実施した「普通河川雨山川災害復旧事業内部検証結果報告書」を基に、技術検証7項目及び追加事項3項目に対して専門的見地での検証を行うとともに、事務検証3項目に対して意見交換を、第1回6月3日、第2回7月7日、第3回10月25日と3回開催され、検証が終了し、普通河川雨山川災害復旧事業に関する提言書が委員会より町長に提出されま



した。  
提言書を受けて、今後の取り組みについて、11月19日議員全員協議会で説明がありました。  
（詳細は熊取町ホームページ審査会の公開に掲載されています。）

雨山川災害  
復旧工事の検証  
(3月31日議会より要望)



# ～議会改革をめざして～

## 議会改革検討特別委員会

令和3年12月8日(水)委員6名出席のもと開催。

- 熊取町議会に関する住民アンケート調査結果について、今後の議会改革に反映させていく。
- 新規改革事業（情報発信の強化、政策立案や町長への政策提言）の追加について、今後、協議する。
- 既存事業（議会だより、議会報告会）の改善について、検討、協議する。
- 通年議会の導入については、継続調査としてきたが、実施しないことに決定。
- 議員定数、議員報酬については、引き続き調査、検討し、令和4年3月定例会の会期中に、方針を決定する予定。



## 住民アンケート調査

ここ近年、社会経済情勢は大きく変動し、少子高齢化の進展による人口減少社会となった今日、地方自治体の行財政運営は困難に直面し、議会に求められる役割もますます重要なものとなっています。このような状況のもと、議会機能の強化、効率的な議事運営等議会改革の推進に努め、より一層「開かれた議会」をめざすための調査、検討を行うことを目的に10/1～10/31まで、熊取町在住の18歳以上の方を対象にパブリックモニター、公共施設5か所でのアンケートBOX、議会ホームページで調査いたしました。結果81名の方の回答をいただきました。ご協力、ありがとうございました。結果につきましては、議会ホームページを御覧ください。



## 議会報告会 ～議会とミーティング～

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、現在開催を見合わせています。

## 3月定例会予定

みんなの議会、  
傍聴しませんか？

会議はいずれも  
午前10時からです。

（3月10日(木)の  
議会運営委員会のみ  
午後1時30分から）

議事の進み具合により、会議が終了している場合があります。  
日程は変更する場合があります。事前にお問い合わせください。(議会事務局 072-452-9023)

**本会議の日程** 3月2日(水)・4日(金)・7日(月)・28日(月)  
[予備日]3月8日(火)

**委員会の日程**

議会運営委員会	2月24日(木)・3月10日(木)
事業厚生常任委員会	3月10日(木)
総務文教常任委員会	3月14日(月)
予算審査特別委員会	3月16日(水)・17日(木)・23日(水)
	[予備日]3月24日(木)

**広報委員会**

委員長	河合 弘樹
副委員長	文野 慎治
委員	大林 隆昭
委員	坂上 昌史
委員	豊谷 陽子
委員	渡辺 圭子
委員	田中 圭介

(O・I)

いたします。

3回目のワクチン接種が始まり、社会生活も活発化してきますが、基本的な感染防止対策の実施は忘れず、健やかな1年となりますようにご祈念いたします。

「開かれた議会」等を実現するため、住民アンケートを実施し、結果を議会ホームページに掲載しております。いただいたお声を活かしながら、取り組んでまいります。

令和4年が幕を開け、熊取町でも1月9日に成人式が行われ、515人の新成人が誕生しました。

## 編集後記



